



# 平成19年5月期決算説明会

大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成19年8月8日 大阪  
平成19年8月9日 東京



- ・ 会社概要
- ・ 平成19年5月期実績
- ・ 平成20年5月期見通し
- ・ 今後の展望
- ・ コーポレートデータ



# . 会社概要

# 1.概要

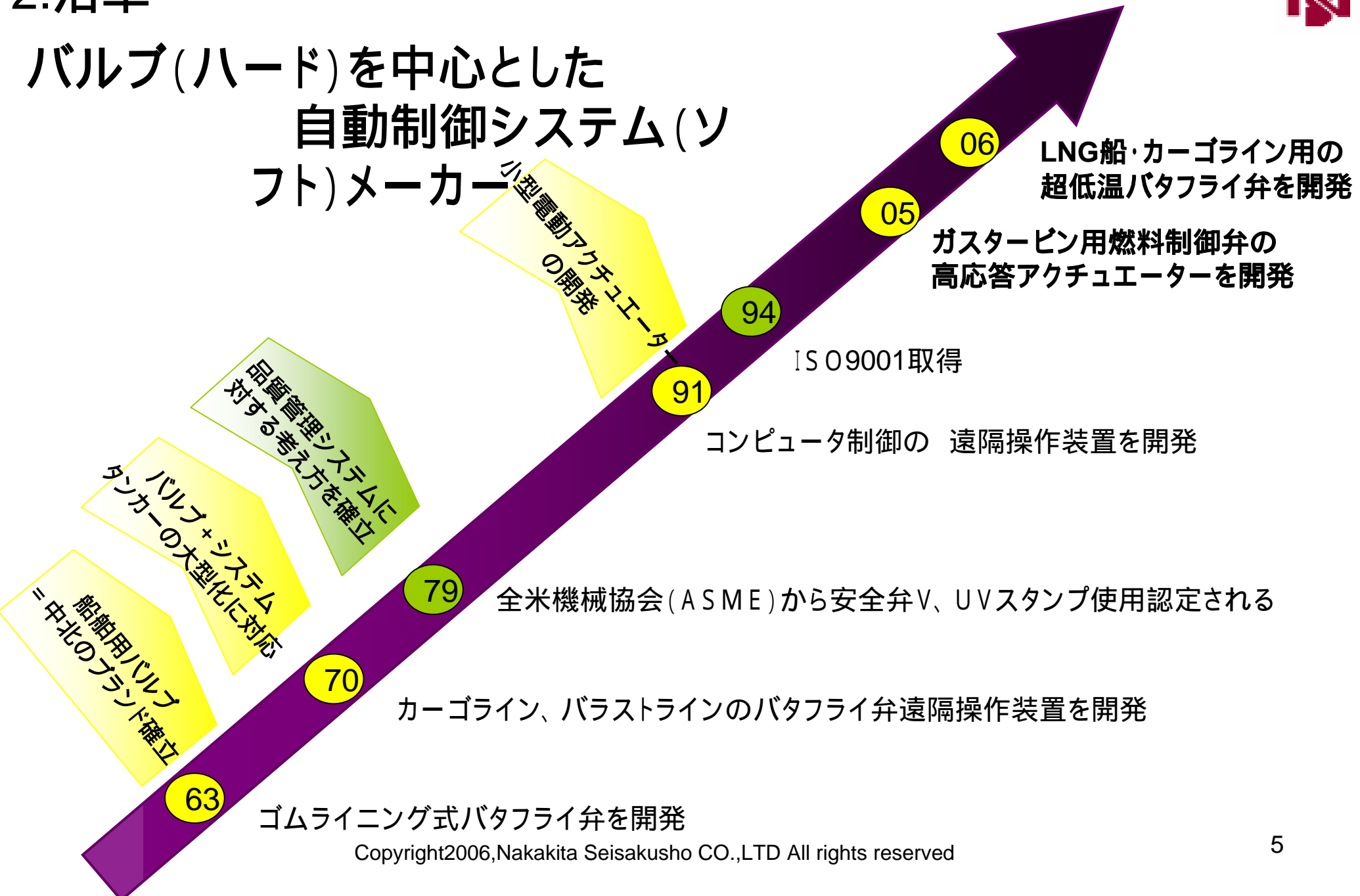


会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	281名(2007年5月末現在)



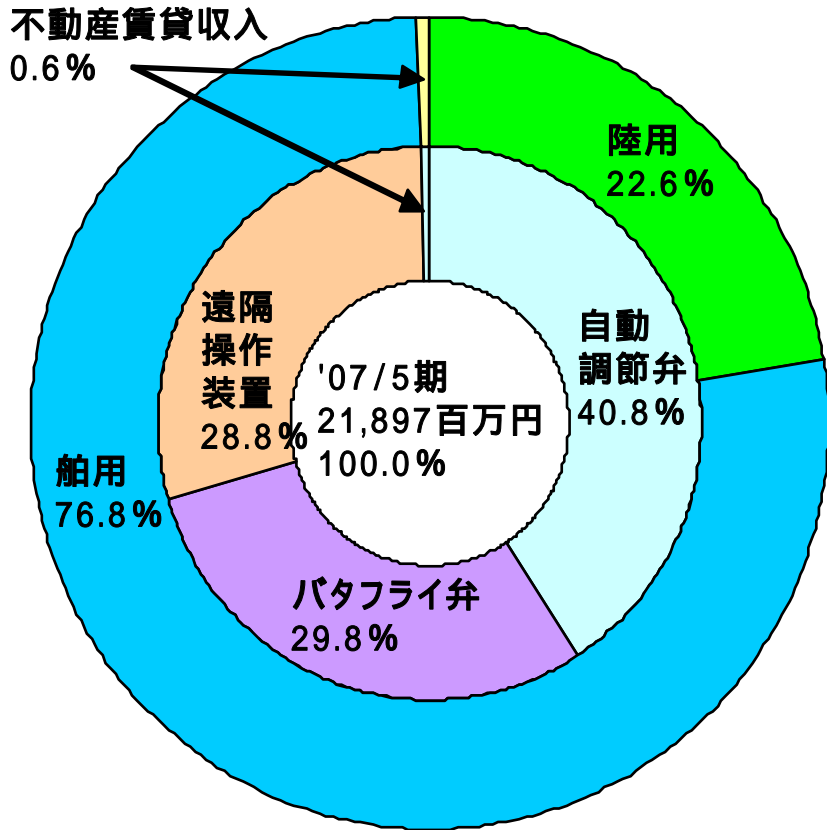
# 2.沿革

## バルブ(ハード)を中心とした 自動制御システム(ソ フト)メーカー



# 3.事業内容

当社は船舶や原子力・火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



品種別用途

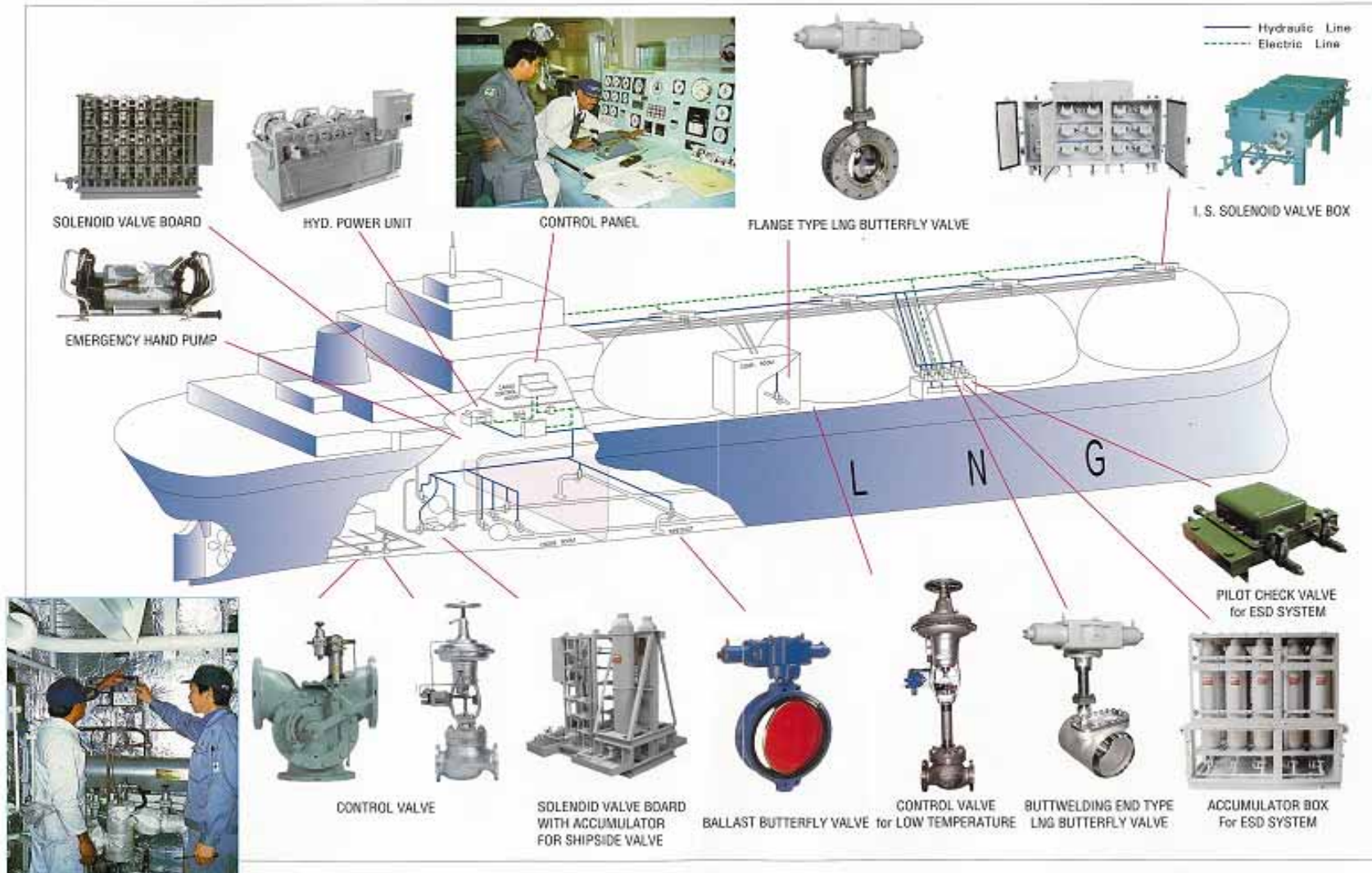
陸船舶別	用途		品種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー			
	バラストライン	全船種			
	機関室	全船種			
陸用	発電プラント	火力発電 原子力発電 ガスタービン発電			
	製鉄プラント				
	造水プラント				
	その他				



# 4.製品

## 船用荷役及びバラスト遠隔操作(バタフライ弁・遠隔操作装置・液面計)

### REMOTE CONTROL SYSTEM FOR LNG "CARRIER"





# 5.製品

クリーンエネルギー = LNG(天然ガス)船用超低温バタフライ弁



組立工場



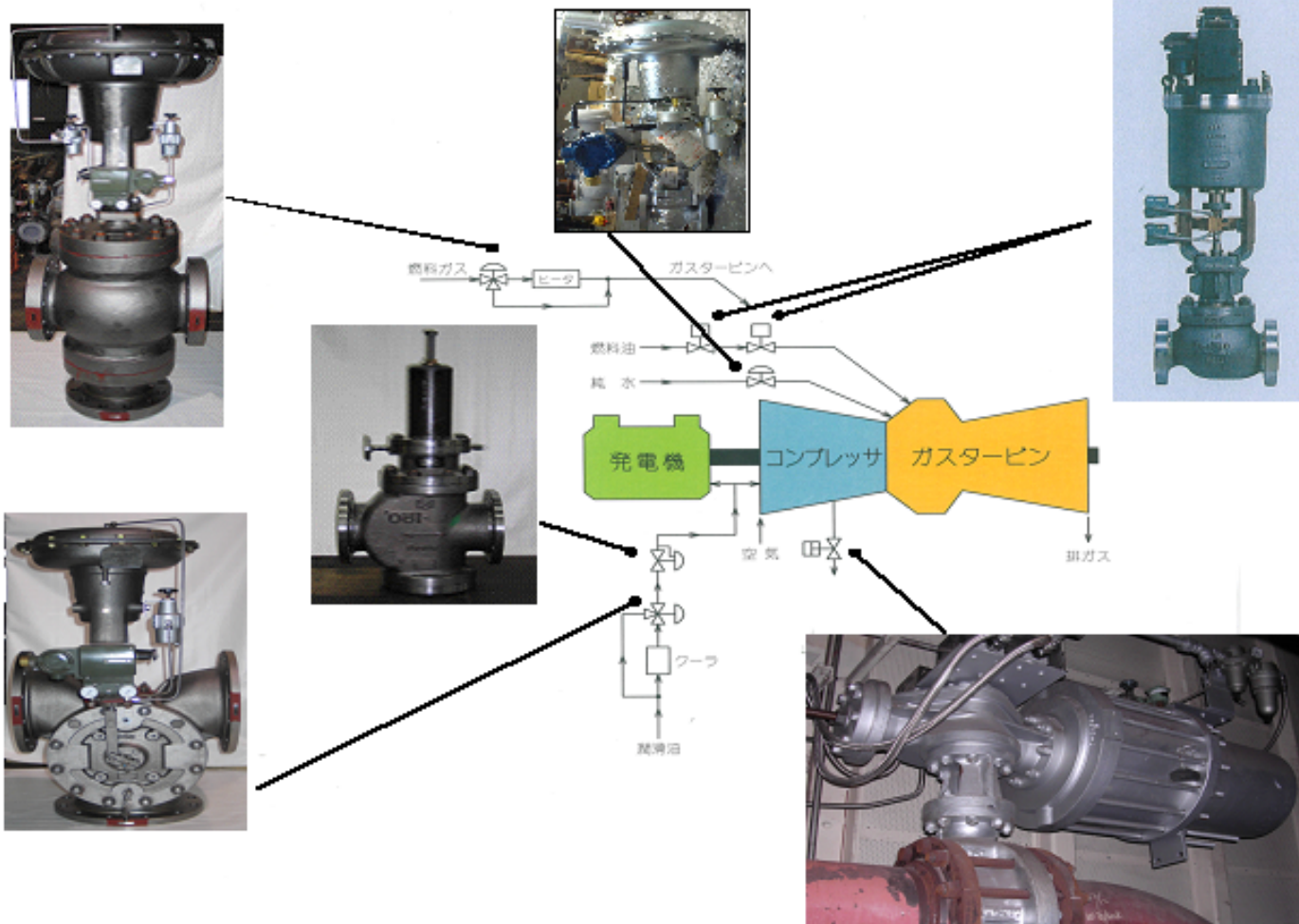
液体窒素( - 196 )による試験



# 6.製品

## ガスタービン用自動調節弁

燃料供給系統、  
潤滑油供給系統、  
その他に  
自動調節弁を納  
入している



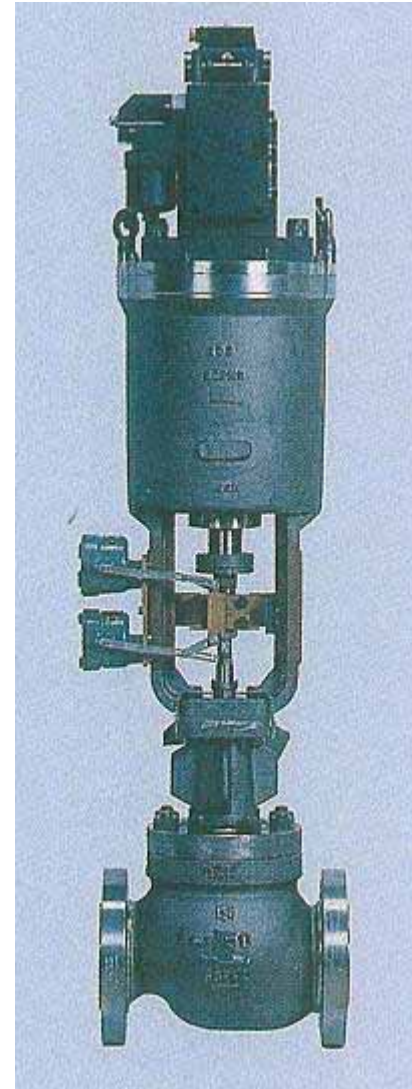
# 7.製品

## ガスタービン燃料供給系統

燃料ガス温度調節弁



燃料流量調節弁及び圧力調節弁



# 8. 世界的な競合と差別化策

バタフライ弁、遠隔操作装置、機関室用調節弁を一括製造している唯一のメーカー  
**品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制**

質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制

船主の細かい注文にも対応

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	アモット
	日本	フランス	デンマーク/ 韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置					
バタフライ弁 (カーゴ/バラスト)					
自動調節弁					
LNGバタフライ弁					



# . 平成19年5月期実績

# 1. 概要

単位：百万円（百万円未満切捨）、%、円

	06/5	07/5	前年同期比		07/5 期初計画	07/5期初 計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
売上高	18,629	21,897	3,268	17.5	19,000	2,897	15.2
営業利益	1,567	2,213	646	41.2	1,900	313	16.5
経常利益	1,589	2,248	659	41.4	1,900	348	18.3
当期純利益	927	1,288	361	39.0	1,100	188	17.1
一株当り利益	51.1	70.4			60.6		
一株当り配当金	25.0	30.0			25.0		
総資産	20,199	23,384					
株主資本	13,161	15,280					

船用中心に主力製品の売上が好調。陸用も堅調な状況が続く。

利益率の改善効果により営業利益、当期利益ともに大幅増益。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産 単位:百万円、%

	06/05	07/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	8,011
バタフライ弁	5,339	6,492	1,153	21.6
遠隔操作装置	5,254	6,284	1,030	19.6
生産高合計	18,604	21,672	3,068	16.5

受注高

	06/05	07/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	8,007
バタフライ弁	5,936	10,921	4,985	84.0
遠隔操作装置	5,781	8,627	2,846	49.2
受注高合計	19,725	28,952	9,227	46.8

受注残

	06/05	07/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	4,968
バタフライ弁	5,180	9,569	4,389	84.7
遠隔操作装置	5,762	8,074	2,312	40.1
受注残合計	15,910	23,088	7,178	45.1

**生産(前年同期比16.5%増)**

**船用製品は20%前後の大幅な増加。**

**受注高(同46.8%増)**

**船用、特にタンカー向けの増加を受けて  
バタフライ弁の受注が大幅拡大。**

**前期の一服状態から一転して受注急増。**

**受注残(同45.1%増)**

**受注の急増を反映し、特に船用の受注残高  
が大幅に増加。**



### 3.部門別売上高

単位:百万円、%

	06/5	07/5			
			増減	伸率	構成比
自動調節弁	7,976	8,927	951	11.9	40.8
バタフライ弁	5,311	6,532	1,221	23.0	29.8
遠隔操作装置	5,218	6,314	1,096	21.0	28.8
不動産賃貸収入	124	124	0	0.0	0.6
売上高・営業収益	18,629	21,897	3,269	17.5	100.0

単位:百万円、%

	06/05	構成比	07/05			
				増減	伸率	構成比
陸用	4,609	24.7	4,955	346	7.5	22.6
船用	13,896	74.6	16,819	2,923	21.0	76.8
その他	124	0.7	124	0	0.0	0.6
合計	18,629	100.0	21,897	3,269	17.5	100.0





## 4. 地域別売上高

単位: 百万円、%

(含商社経由)	06/5	07/5			
			増減	伸率	構成比
国内	14,912	16,341	1,429	9.6	74.6
韓国	2,454	3,123	669	27.3	14.3
中国(香港)	1,168	2,222	1,054	90.3	10.1
その他	95	211	116	122.6	1.0
合計	18,629	21,897	3,268	17.5	100.0
輸出比率	19.9	25.4			

中・韓のタンカー建造増加による輸出の拡大が続く。特に中国向けはほぼ倍増の大幅な増加。



# 5. 損益計算書

単位: 百万円 %

	06/5		07/5			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	18,629	100.0	21,897	3,268	17.5	100.0
売上原価	15,434	82.8	17,883	2,449	15.9	81.7
売上総利益	3,195	17.2	4,015	820	25.7	18.3
販売費・一般管理費	1,627	8.7	1,801	174	10.7	8.2
営業利益	1,568	8.4	2,213	646	41.2	10.1
営業外損益	21	0.1	35	13	-	0.2
経常利益	1,589	8.5	2,248	659	41.4	10.3
特別損益	0	0.0	0	0	-	0.0
税引前当期純利益	1,589	8.5	2,248	659	41.4	10.3
法人税等	662	3.6	960	297	44.9	4.4
当期純利益	927	5.0	1,288	361	39.0	5.9

増収効果と生産工程の乱れの一巡により、売上、営業利益、利益率ともに大幅な増加。



単位: 百万円

# 6. 貸借対照表

	06/5	07/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	15,293	17,590	2,297	
現金・預金	2,397	4,260	1,863	金庫株放出1,285 他
売上債権	8,517	9,440	923	売上増1,496 、輸出比率増加による回転期間短縮 573
棚卸資産	3,058	3,060	2	売上増538 、回転期間短縮 536
その他	1,321	830	491	
固定資産合計	4,906	5,794	888	
有形固定資産	2,590	3,227	637	設備投資828 、減価償却 191
無形固定資産	10	15	5	
投資・その他の資産	2,307	2,552	245	
資産合計	20,199	23,384	3,185	
流動負債合計	5,792	6,869	1,077	
支払手形・買掛金	3,018	3,496	478	
短期借入金	1,770	1,870	100	
その他	1,004	1,503	499	
固定負債合計	1,056	850	206	退職給付引当金 205
負債合計	6,847	7,719	872	
資本合計	13,352	15,665	2,313	
負債・資産合計	20,199	23,384	3,185	



# . 平成20年5月期通期見通し



# 1. 概要

単位：百万円（百万円未満切捨）、%、円

	07/5	構成比	08/5E	前年同期比		構成比
				増減	伸率	
売上高	21,897	100.0	23,000	1,103	5.0	100.0
営業利益	2,213	10.1	2,300	87	3.9	10.0
経常利益	2,248	10.3	2,300	52	2.3	10.0
当期純利益	1,288	5.9	1,330	42	3.3	5.8
一株当り利益	70.4		69.4			
一株当り配当金	30.0		25.0			
設備投資	921		1,300			
減価償却費	194		340			

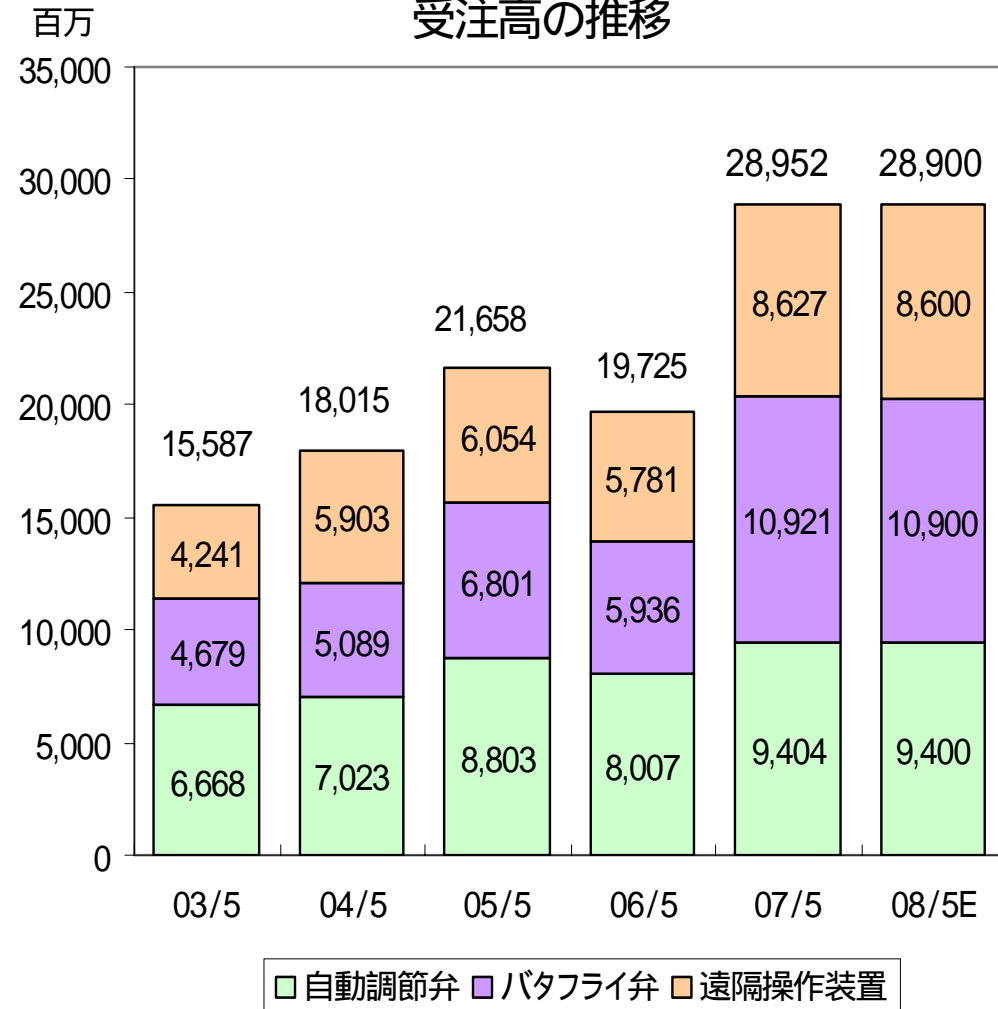
堅調な需要を予想するも、増産体制の状況、原材料費・減価償却費等のコスト増を考慮し、売上・利益とも

5%程度アップと予想。

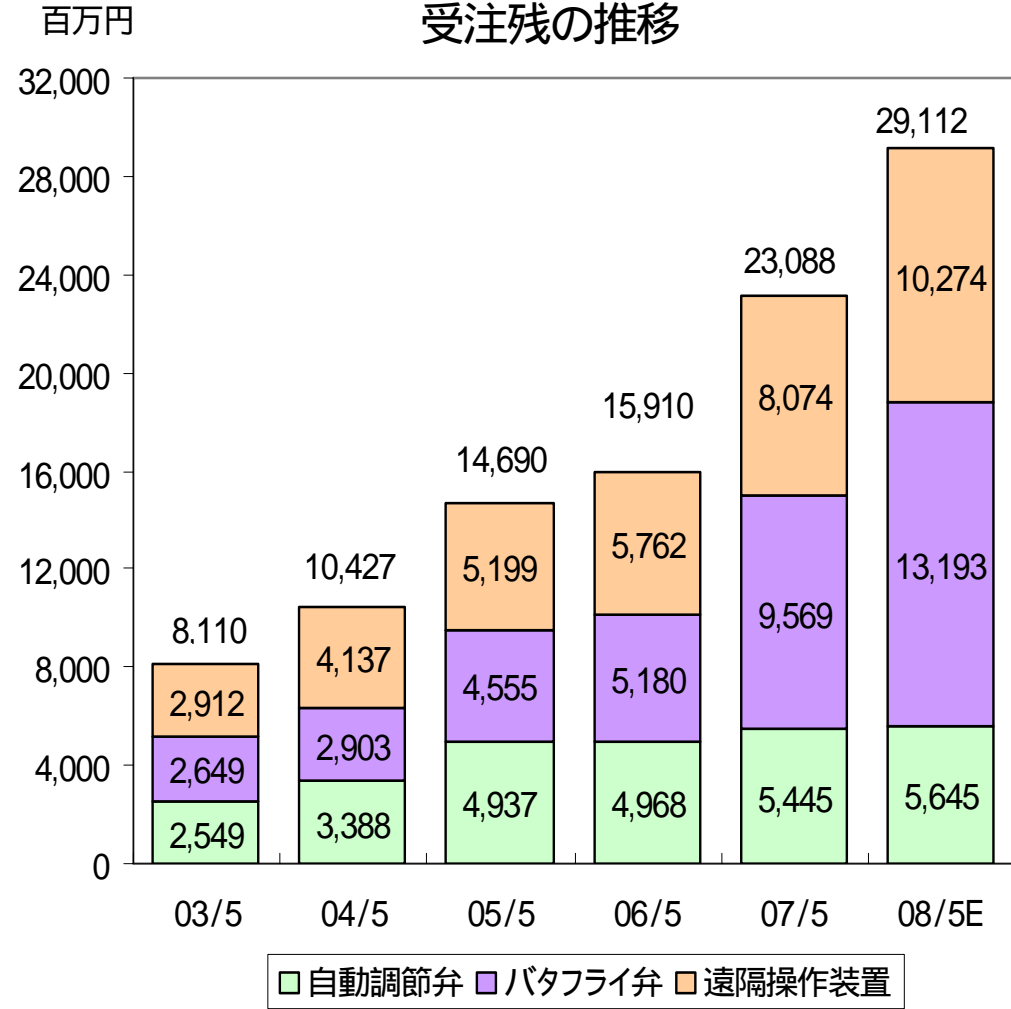
設備投資関係費用は減価償却費と修繕費で前期比約250百万円の増加を見込む。

# 2. 受注・受注残の見通し

## 受注高の推移



## 受注残の推移



タンカー向け中心に需要は引き続き旺盛であり、前期並みの受注高を見込む。



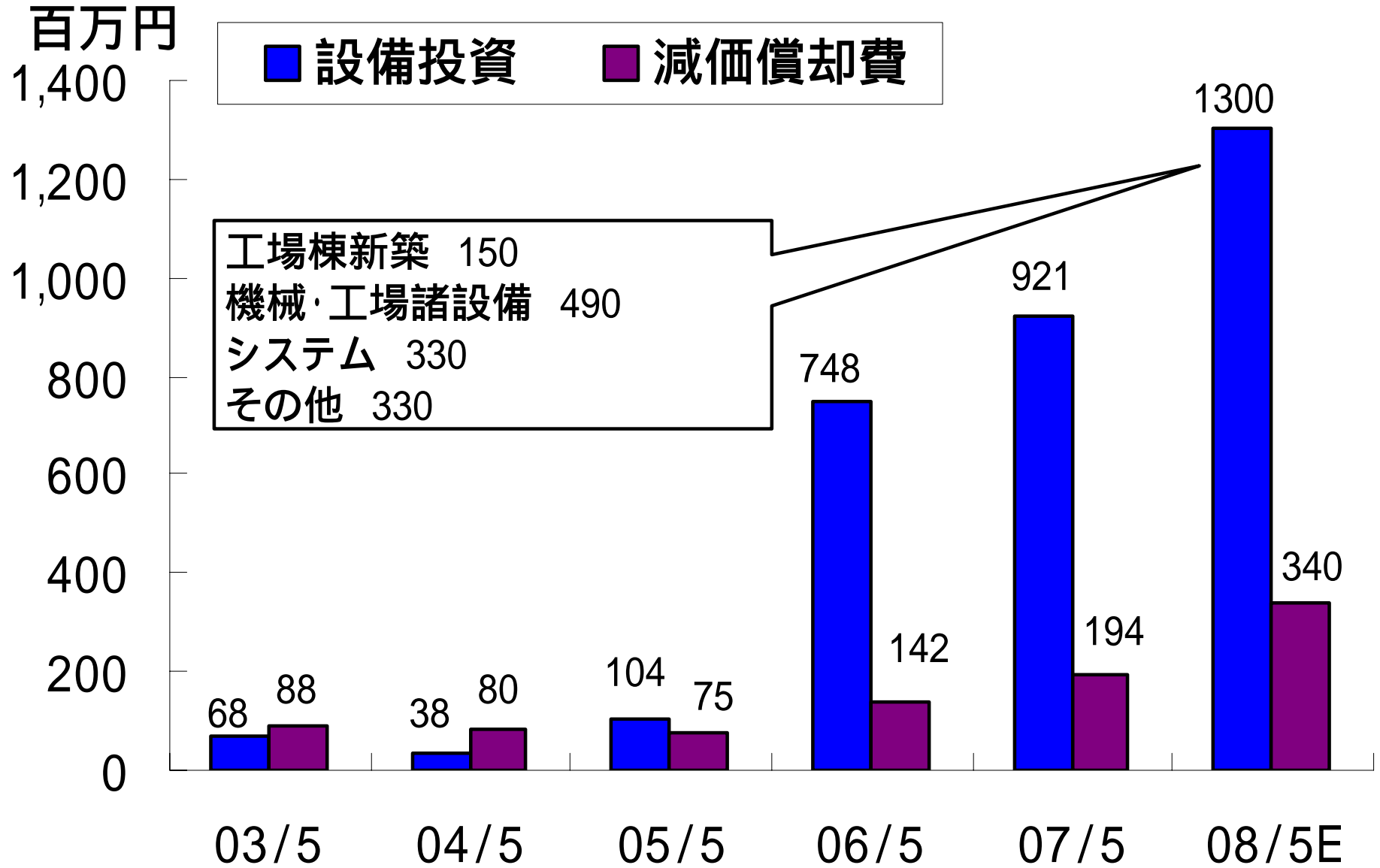
### 3. 損益計算書

単位:百万円 %

	07/5		08/5E			
	07/5	構成比	08/5E	増減	伸率	構成比
売上高	21,897	100.0	23,000	1,103	5.0	100.0
売上原価	17,883	81.7	18,841	958	5.4	81.9
売上総利益	4,015	18.3	4,159	144	3.6	18.1
販売費・一般管理費	1,801	8.2	1,859	58	3.2	8.1
営業利益	2,213	10.1	2,300	87	3.9	10.0
営業外損益	35	0.2	0	35	100.0	0.0
経常利益	2,248	10.3	2,300	52	2.3	10.0
特別損益	0	0.0	0	0	0.0	0.0
税引前当期純利益	2,248	10.3	2,300	52	2.3	10.0
法人税等	960	4.4	970	10	1.1	4.2
当期純利益	1,288	5.9	1,330	42	3.2	5.8



# 4. 設備投資と減価償却費の見通し





# . 今後の展望

# 1. '08/5期の経営課題と戦略

## 07/5期の経営トピックス

設備更新による生産性向上

(1) LNG船用バルブ、ボイラー等検査装置の新設…(次頁 写真2)

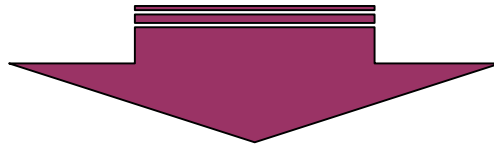
(2) 作業環境向上のための工場諸設備の整備

ガスタービン用大型高温バルブの生産ライン整備

(1) 運輸倉庫の新設と生産ライン整備…(次頁 写真1)

新生産管理システム(新NAPS)を構築中

目標とする経営指標を策定



## 08/5期のテーマ

- …設備増強
- …生産効率改善
- …内部統制強化
- …セキュリティシステムの強化

## 2. 生産性向上のための設備投資 先期実績

出荷用倉庫

テスト用ボイラー

(写真2)

(写真1)



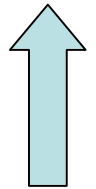


### 3.設備投資 今期予定

資材倉庫・溶接工場を移転



駐車場に資材倉庫・溶接工場等新設

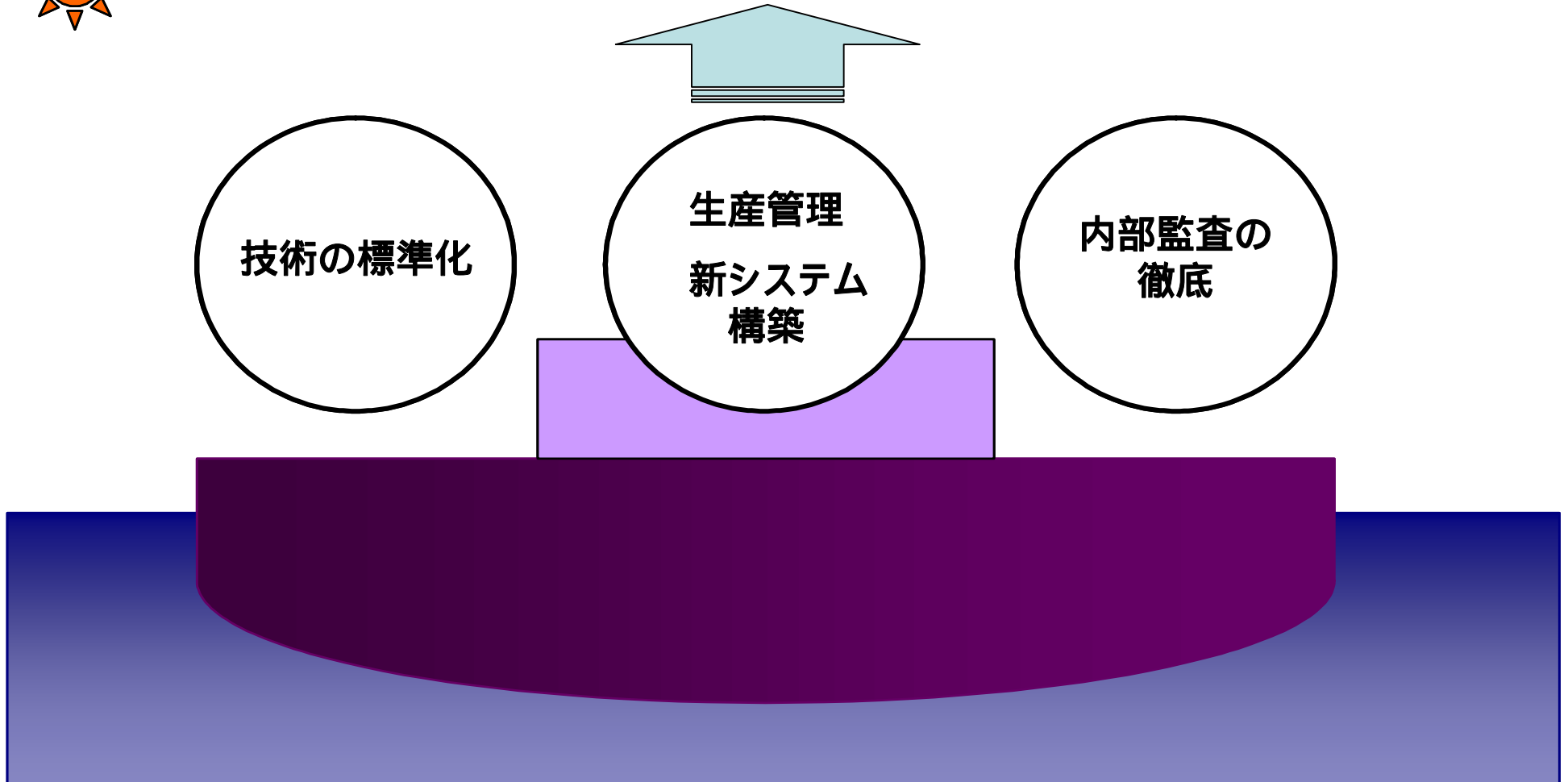


リモコン工場  
を隣の資材  
倉庫・溶接  
工場跡へ  
拡張

## 4. 課題への取り組み



大幅な受注残の増加に対応した生産効率化と  
信頼される高品質なもの作りを目指す！





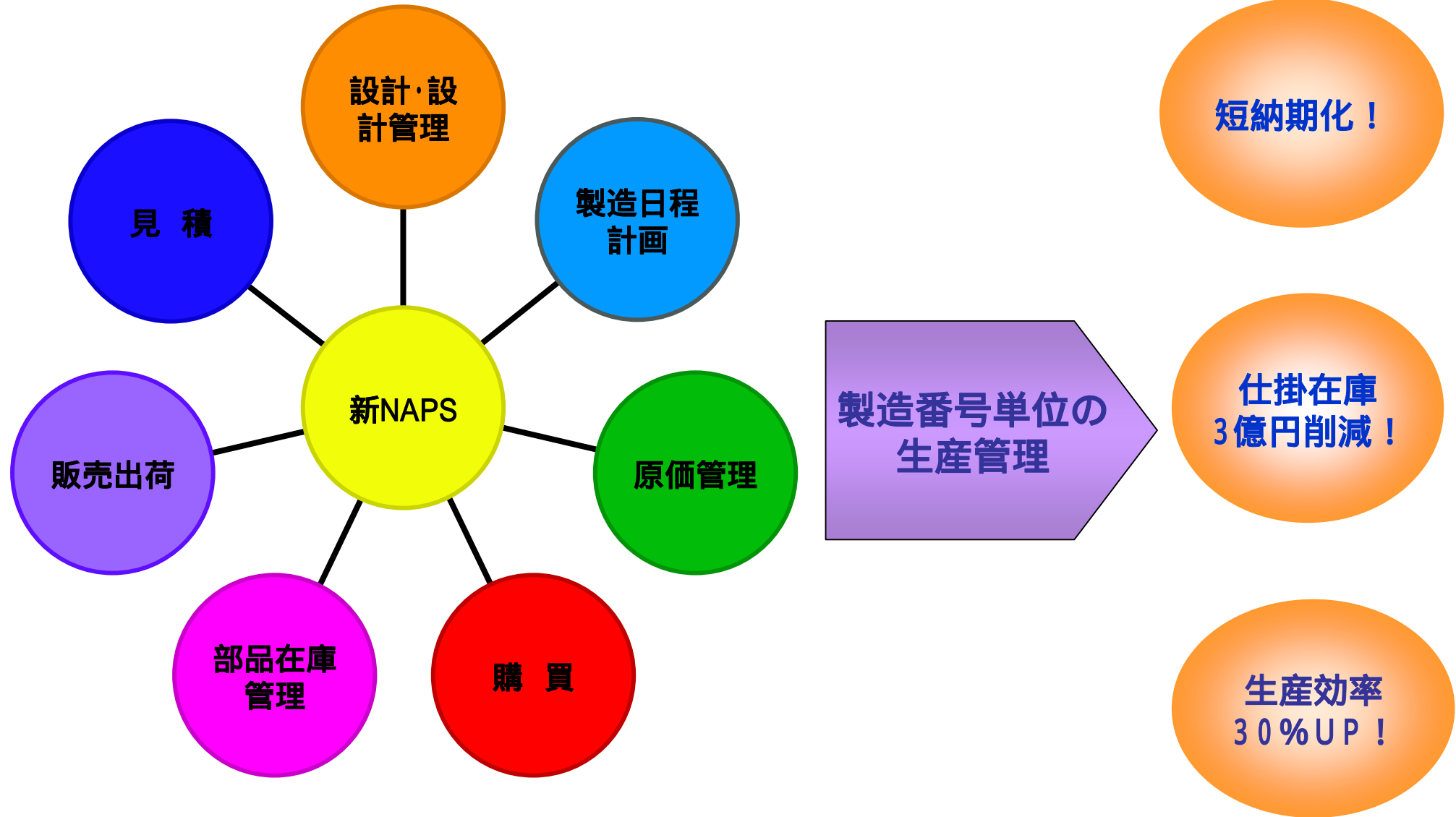
## 5. 生産管理新システム(新NAPS)の構築

NAPS(85年導入)の見直し完了、プログラム作成中

投資額は約2.7億円、08年2月より本格稼動予定

“見える生産管理システム”を再構築







## 6. 中期的な経営戦略

### 船舶向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

タンカー建造の増加を背景として、バタフライ弁および遠隔操作装置の増産体制を整備し更に受注拡大を図る

エネルギーのLNG化を背景にLNG船の増加に対応した超低温バタフライ弁の製造・販売に注力する

### 陸上向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

コンバインドサイクル発電プラントの建設増加を背景としたガスタービン用大型高温高圧バルブの生産設備を整備し更に受注拡大を図る

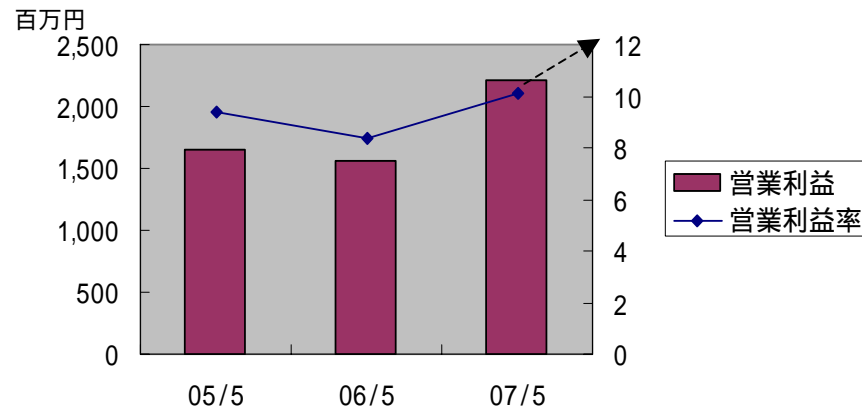
ガスタービン用燃料供給弁の高応答アクチュエータを開発し、バルブとの一体販売を図る

### 生産効率の改善

新NAPSをフル活用し、生産効率の改善による増産と利益率のアップを図る

### 目標とする経営指標の達成

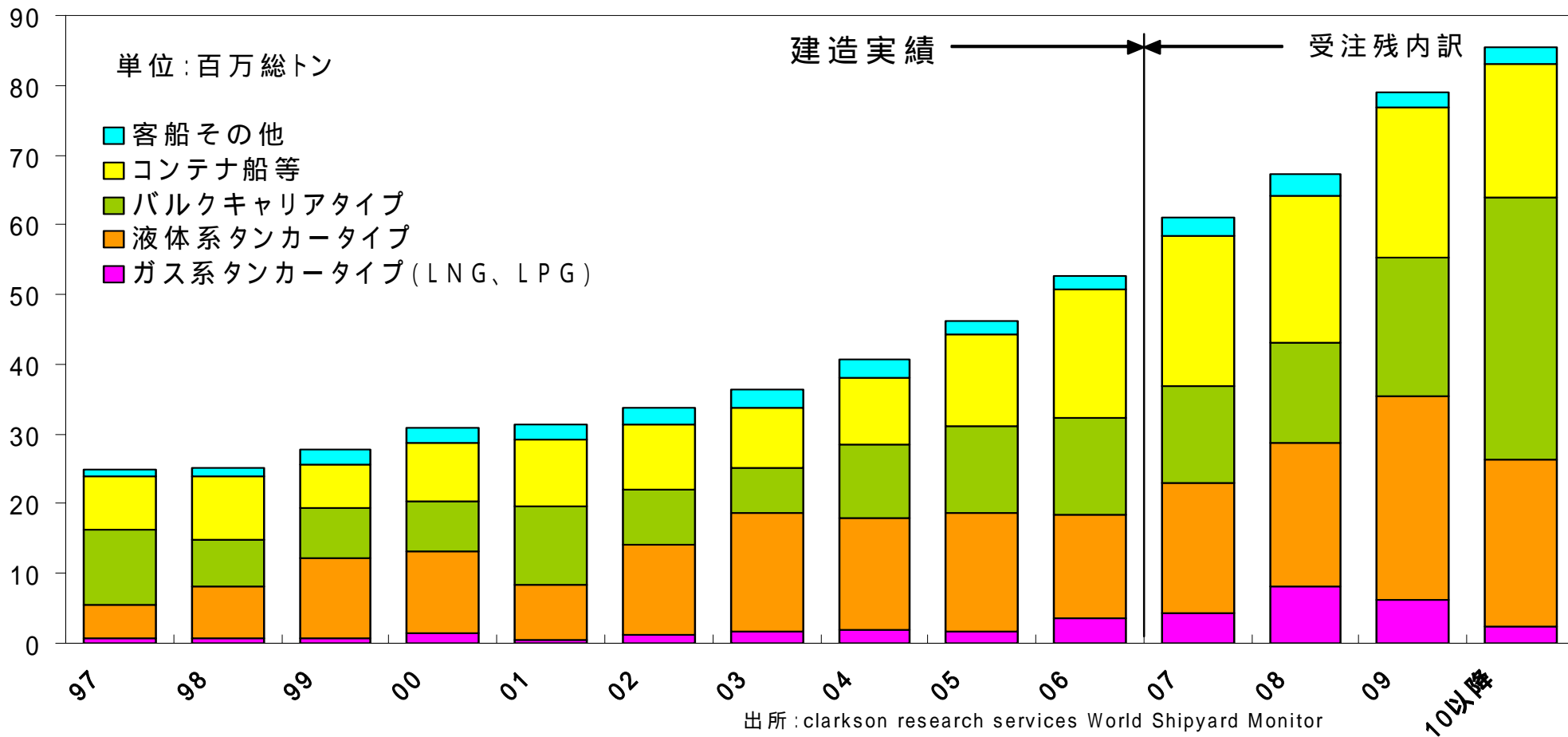
製造原価率の低減を重視、中期目標として営業利益率12%を目差す



# 7. 船用分野市場動向～納期別・船種別手持工事量(07年6月現在)



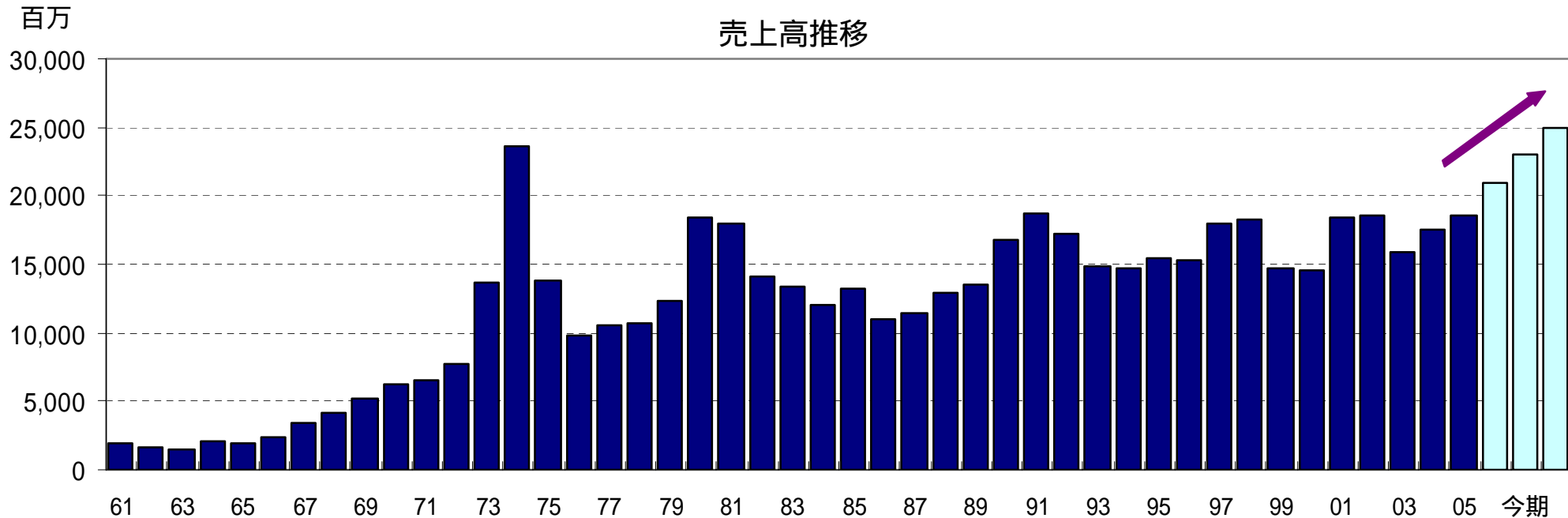
世界の納期別造船実績及び予想は2009年納期まで増加傾向にあり、足元の受注状況も2010年以降分が堅調に積みあがってきている。



# 8. まとめ

造船業界の活況に加え、新たに投入するLNG船用超低温バタフライ弁やガスタービン用高応答アクチュエーターも漸次売上に寄与し、今後数年間は売上の伸長が見込まれる。

新NAPS(生産管理システム)稼動と技術の標準化による生産効率化及び適切な在庫・収益管理も寄与、先行投資負担吸収し収益拡大基調に！





# . コーポレート・データ



	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
売上高	18,494	15,838	17,518	18,629	21,897	23,000
営業利益	1,803	1,126	1,658	1,568	2,213	2,300
営業利益率	9.7	7.1	9.5	8.4	10.1	10.0
経常利益	1,818	1,127	1,651	1,589	2,248	2,300
経常利益率	9.8	7.1	9.4	8.5	10.3	10.0
当期利益	915	575	916	927	1,288	1,330
当期利益率	4.9	3.6	5.2	5.0	5.9	5.8
総資産	18,988	19,211	20,101	20,199	23,384	
株主資本	12,340	12,356	12,967	13,161	15,280	
株主資本比率	65.0	64.3	64.5	65.2	65.3	
株主資本利益率	7.4	4.7	7.1	7.0	8.4	
1株当たり利益	45.3	28.6	47.6	51.1	70.4	69.4
1株当たり配当金	10.0	14.0	25.0	25.0	30.0	25.0



陸船別売上	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
陸用売上	3,622	3,296	3,808	4,609	4,955	5,200
船用売上	14,682	12,401	13,587	13,896	16,819	17,676
その他	190	140	124	124	124	124
合計	18,494	15,838	17,518	18,629	21,897	23,000

品種別売上	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
自動調節弁	6,736	6,185	7,253	7,976	8,927	9,200
バタフライ弁	6,333	4,835	5,149	5,311	6,532	7,276
遠隔操作装置	5,235	4,678	4,992	5,219	6,314	6,400
その他	190	140	124	124	124	124
合計	18,494	15,838	17,518	18,629	21,897	23,000

生産	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
自動調節弁	6,583	6,193	7,317	8,011	8,896	9,200
バタフライ弁	6,198	4,844	5,189	5,339	6,492	7,400
遠隔操作装置	5,110	4,683	5,039	5,254	6,284	6,400
合計	17,891	15,721	17,545	18,604	21,672	23,000

受注	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
自動調節弁	6,668	7,023	8,803	8,007	9,404	9,400
バタフライ弁	4,679	5,089	6,801	5,936	10,921	10,900
遠隔操作装置	4,241	5,903	6,054	5,781	8,627	8,600
合計	15,587	18,015	21,658	19,725	28,952	28,900

受注残	03/5	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5E
自動調節弁	2,549	3,388	4,937	4,968	5,445	5,645
バタフライ弁	2,649	2,903	4,555	5,180	9,569	13,193
遠隔操作装置	2,912	4,137	5,199	5,762	8,074	10,274
合計	8,110	10,427	14,690	15,910	23,088	29,112